

図書館情報

Library information

◆催し物情報

◆冬休み巡回子ども映画会

日時／会場／定員(当日先着順)：①1月6日(水)、午前10時30分～11時20分／まなび学園／30人②1月9日(土)、午前10時30分～11時20分／東和図書館／20人③1月9日(土)、午後2時～2時50分／石鳥谷図書館／20人④1月16日(土)、午前10時30分～11時20分／花巻図書館／15人⑤1月16日(土)、午後2時～2時50分／大迫図書館／20人
内容：アニメ「ぞくぞく村のオバケたち」⑤第2話「雪女ユキミダイフク」ほかの上映

◆花巻図書館

☎23・5334

●おはなし会「時間は20分程度、定員は15人程度(当日先着順)」
①0～2歳児対象：1月15日(金)、午前11時②3～4歳児対象：1月9日(土)、午前10時30分③5～6歳児対象：1月23日(土)、午前10時40分④小学1～3年生対象：1月23日(土)、午前9時40分

●本の福袋

日時：1月4日(月)、午前9時～なくなり次第終了
内容：福袋に入った図書館司書お薦めの本など2冊を

貸し出します

●休日ほっと映画会

日時：1月24日(日)、午前10時～11時20分
内容：映画「遠野語り」阿部ヤエの上映
定員：15人(当日先着順)

●1月のテーマ図書展

《成人の日～若い人に贈る読書のススメ》
《芥川賞・直木賞発表》
《今年はウシどし》みつめてみようウシの絵本
《さむさにまけるな！》冬を楽しむ絵本

◆大迫図書館

☎48・2244

●冬休みおはなし会

対象：小学生以下
日時：1月10日(日)、午前11時～正午

●図書展《冬休みおすすめの本》
12月27日(日)～1月20日(水)

●テーマ図書展《図書館の本》
1月4日(月)～31日(日)

●ギャラリー展《ハーバリウム作品展》
1月4日(月)～2月7日(日)

●関連企画《ハーバリウムづくり》
対象：幼児以上(小学校中学年以下は保護者同伴)
日時：1月10日(日)、午前10時～11時
内容：ハーバ

リウムの製作体験
定員：15人(先着順)
参加料：500円～1500円(材料代)
申込期間：1月4日(月)～9日(土)
申し込み：大迫図書館

◆石鳥谷図書館

☎45・6882

●土曜わくわくタイム「毎週土曜日、午後2時～3時、おはなし会と映画会、定員20人(当日先着順)」

1月16日、アニメ「アリババと40人の盗賊」
1月23日、アニメ「ねぎぼうずのあさたろう 其の一」
1月30日、アニメ「ねぎぼうずのあさたろう 其の二」

●図書展《ふくくる》

期間：1月8日(金)～10日(日)
内容：福袋に入った図書館司書お薦めの本2冊を貸し出します(なくなり次第終了)

●ギャラリー展《人と動物のふれあいを大切に》
1月13日(水)～24日(日)

●亀ヶ森写真同好会フォトすくすく展
1月27日(水)～2月21日(日)

●図書企画展《心も身体もあたたかく》
1月20日(水)～3月7日(日)

【各図書館の休館日】
花巻・大迫＝12月28日(月)～1月3日(日)・11日(月・祝)、2月1日(月)
石鳥谷＝毎週月曜日、12月15日(火)～18日(金)[蔵書整理点検]・29日(火)～1月3日(日)、2月2日(火)
東和＝毎週月曜日、12月29日(日)～1月3日(日)、2月2日(火)

今月のおすすめの本

～おとなの本棚から～

★『世界の児童文学をめぐる旅』
一池田正孝(エクスナレッジ)

『不思議の国のアリス』や『くまのプーさん』、『ナルニア国物語』シリーズなど、幼い頃夢中になって読みふけた名作の数々。その舞台を訪れて収めた豊富な写真から、物語の背景と創作の源泉に迫ります。



～こどもの本棚から～

★『科学者になりたい君へ』
一佐藤勝彦(河出書房新社)

日本の科学者をけん引する宇宙物理学の著者が、実例を交えて科学の世界を案内。研究生活やノーベル賞、科学の面白さなど、自身の科学者人生が紹介されていて、科学を見る目が変わる1冊です。



◆東和図書館
☎42・3202
●日曜くつろぎの映画会
日時：1月24日(日)、午後2時～3時
内容：映画「よみがえる100年前の世界」の上映
定員：20人(当日先着順)
●企画図書展《宮沢賢治のお話に出てくる鳥たち》
1月20日(水)～2月28日(日)

各図書館の月～金曜日の開館時間を短縮しています。
【時間】午前10時～午後5時
【来館時の注意点】マスクの着用をお願いします。体調が悪い人、咳をしている人、風邪の症状がある人は入館をご遠慮ください
※「イベント参加時の注意点」は各図書館へお問い合わせください

賢治さん まちづり

第93回

宮沢賢治と高村光太郎

彫刻家として知られる高村光太郎は、宮沢賢治と深いつながりを持つ人物です。今回は二人の縁について紹介します。

賢治の作品で生前に発刊されたのは詩集『春と修羅』と童話『注文の多い料理店』の2作品。このうち『春と修羅』を詩人・草野心平から薦められた光太郎は、その世界観に魅了され、以降文通により賢治や心平と交流を深めました。光太郎は、賢治の死後も「賢治全集」の編集や装丁のほか、花巻地区にある「雨ニモマケズ」詩碑の揮毫などを行っています。

昭和20(1945)年、東京の自宅兼アトリエを空襲で失った光太郎は、賢治の父・政次郎や弟の清六を頼って花



▲道の駅はなまき西南に展示されているパネル

巻の宮沢家に疎開しました。しかし疎開先の宮沢家も空襲で焼失。その後、光太郎は太田の小屋(高村山荘)で7年間過ごし、その間には地域の人々との交流もありました。道の駅はなまき西南は、高村山荘がある花巻西南地域に建てられ、8月7日にオープンしました。多くの人が立ち寄り、西南地域に新たなにぎわいを創出しています。

一般公募により「賢治と光太郎の郷」という愛称が付けられた同施設。休憩スペースには、賢治と光太郎とのつながりが記されたパネルが展示されています。皆さんもぜひ立ち寄ってご覧ください。

【問い合わせ】
本館賢治まちづり課
(☎41・3590)

The world and HANAMAKI 世界と花巻 vol.83

国際姉妹都市ホットスプリングス市ASMSAと花巻北高校のオンラインでの姉妹校交流

本市の国際姉妹都市・米国アーカンソー州ホットスプリングス市にある、アーカンソー数理芸術高校(Arkansas School for Mathematics, Science and the Arts[通称ASMSA])と花巻北高校が11月4日、オンラインでの交流を行いました。

両校は平成28年9月に姉妹校提携を結びました。以来、毎年6月にASMSAの生徒が花巻北高校を訪問し、3月に花巻北高校の生徒がASMSAを訪問して交流を深めてきました。本年度の相互訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になっていましたが、ASMSAから花巻北高校に打診があり、オンラインでの交流が実現しました。

この交流には、ASMSAから日本語クラスの生徒



オンラインでの交流会の様子(写真左…ASMSAの参加者、写真上…花巻北高校の参加者)

5人が、花巻北高校から英語部の生徒や派遣事業に参加予定だった生徒など9人が参加しました。両校の校長が顔合わせをした後、各生徒が相手国の言語で自己紹介。好きな食べ物や本、テレビ番組のほか、学校で人気のクラブ活動について質問し合い交流を深めました。初めのうちは英語で話すことに緊張していた花巻北高校の生徒たちも、次第に緊張が解けて笑顔で交流を楽しんでいました。

オンラインでの交流は今後も続けていく予定で、次回は来年の1月ごろに行う予定です。